

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・埋蔵文化財発掘事業発掘開始
- ・あつまっ子ふるさと体験教室
- ・英語教育推進事業「夢のある英語教育」の実現を目指して①
- ・自治会対抗パークゴルフ大会の開催について
- ・厚真町少年野球教室参加者募集
- ・さわやか町民登山会のお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

埋蔵文化財発掘事業 上幌内遺跡群の発掘開始

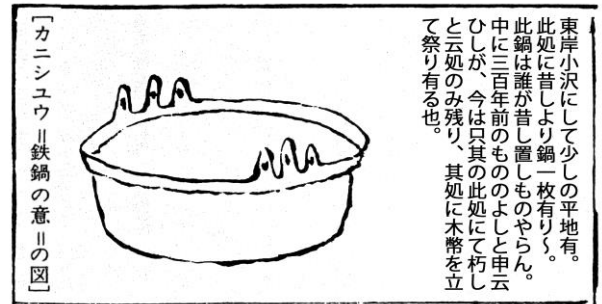
今年の発掘調査は5月13日から10月31日までの6カ月間で厚幌ダム建設に係る4カ所の遺跡を調査します。発掘作業は昨年と同様に一部を民間コンサルタントへ委託し、調査員・事務員等10人と発掘作業員等93人の総勢103人で、厚真町内のほか苫小牧、安平、むかわ、日高町から送迎バス4台で幌内地区まで通い、発掘調査にあたります。

今年度は新たに3カ所の遺跡を調査します。4月中旬より現地土除去などの準備作業に取りかかり、すでに500～700年前のアイヌ民族の墓地が3基のほか、たき火跡や日本刀が見つかっています。また、今から約160年前に厚真を訪れた幕末の蝦夷地探検家・松浦武四郎もアイヌの人々が奇妙な形の伝説的鉄鍋をイナウ(木幣)を立てて奉る場所として記録した一里沢遺跡も発掘調査する予定で、関係機関からも注目されています。

旧軽舞小学校でも昨年から引き続き出土品の水洗いや台帳入力などの整理作業も行っていますので、厚幌ダム本体の建設工事が本年より始まる幌内地区の発掘現場と合わせてお気軽に見学などへ是非お越しください。

今年度も、江別市に本拠地をおく北海道埋蔵文化財センターも発掘調査を行っており、4カ所の遺跡で千歳市、苫小牧市から約80人の作業員が従事しています。

幌内及び軽舞地区などのみなさんに、発掘調査、整理作業へのご理解とご協力をお願いいたします。



約160年前に松浦武四郎が描いた一里沢の奇妙な鉄なべ

放課後子ども教室 特別教室 あつまっ子ふるさと体験教室

放課後子ども教室では、今年度も【あつまに育つ】をテーマに、子どもたちのふるさと観を育む地域に根差した体験活動「あつまっ子ふるさと体験教室」を実施します。厚真の産業・人・食に触れる体験型プログラムの第1弾として、とまこまい広域農協青年部厚真支所のみなさんの協力のもと、農場体験や田植え体験、昨年みんなで収穫した米粉を使ったおやつ作りなどを行います。

子どもたちと一緒に活動を楽しんでもらえる地域の方々の参加も大歓迎です！

あつまっ子ふるさと体験教室

第1回〈あそんで、はたらく～田植えのお手伝い&米粉のおやつづくり〉

共催：とまこまい広域農協青年部厚真支部

◆とき 6月8日(日) 午前9時から午後4時30分

◆場所 堀田農場(新町)、新町町民広場

青少年センター(集合 午前9時20分/解散 16時10分)

厚南会館(集合 午前9時00分/解散 16時30分)

◆対象・定員 放課後子ども教室に登録している小学生20人(親子参加歓迎)

お手伝いをしていただける地域の方(事前に担当までご連絡ください)

◆問合せ・申込み 教育委員会社会教育グループ Tel.27-2495(担当 宮下)

